

編集にあたって

私は臨床医として働きつつ執筆、医師向けwebサイトのクイズ作成、国試予備校講師、国試模試作成などもしているので、普段から「いかにわかりやすく文章を書くか」を考えており、また多くの医学書に目を通しています。感染症の分野では、初学者が購入を検討するような有名な本はほぼすべて読んだと思います。このような背景をもつ私が編集者として携わったのが本書になります。読者にとってより良い本になるよう、編集するにあたり次のことを意識しました。

抗菌薬を使用する期間を記載していただく

抗菌薬は適切なものを選択し、適切な期間使用することが重要です。抗菌薬の選択については多くの本で記載しているのですが、期間については記載のないことがあります。それではいつまで継続すればよいのかわからず、実臨床で困ってしまいます。本書では可能な限り期間について記載していただくよう執筆者である山口先生にお願いしました。

抗菌薬の優先順位・使い分けを記載していただく

本によっては、「抗菌薬は〇〇か××、もしくは□□を使う」のように抗菌薬が複数記載されているものがあります。実臨床ではそのなかから一つを選択しなければいけません。初学者は「このなかのどれを使用すればよいの？」と疑問に思うでしょう。本書では可能な限り優先順位・使い分けを詳しく、具体的に記載していただくよう山口先生にお願いしました。

わかりやすくなるよう徹底的に推敲する

本を作成する場合、最初の原稿にはわかりにくい部分があるものです。それを執筆者に質問・提案し推敲してもらうのが編集者の役割です。編集者は医師でないことが一般的なのですが、その場合「私にはわかりにくいけど、医師ならおそらくわかるのだろう」と考えてしまい、わかりにくい部分が修正されずそのまま残ってしまうことがあります。一方、私がわかりにくいと感じた部分は初学者にとってもわかりにくいのは明らかですので、すべて質問・提案し推敲していただきました。大変多くのお願いや質問に対応していただきました山口先生には心より感謝申し上げます。

このようにしてできたのが本書であり、初学者にとってわかりやすく、より実践的な内容になっています。ぜひ本書で勉強し、実臨床にお役立ていただければ幸いです。

2024年1月

佐藤弘明